

急ぎ過ぎだよ 人類は。
ゆるやかなネットワークを目指す

ITより
逢いてエ

雑報 縄文

いろんな考えがあるから面白い
いろんな人がいるから楽しい

No. 605

2021年12月 **月刊**

編集・発行 鈴木厚正

〒266-0005 千葉県緑区菅田町2-21-359

T&F 043-291-2917

も・く・じ

- | | |
|--------------------|----|
| ● あの山の向こうに ①44 | 2 |
| ● お詫ごとお願ひ | 4 |
| ● 原発事故調査研究の経緯と今後 | 5 |
| ● 「情報隠蔽国家」ほか | 8 |
| ● お便りから | 12 |
| ● 山仕事(11月、「マカンザサ」) | 17 |
| ● コロナ日誌 | 23 |
| ● ニュース警見 | 25 |
| ● け・い・じ・ばん | 26 |



12月6日現在の
会員数 229名

この見本誌
「言

佐藤貞敏さんのお便りから
(奥様が育てたサツマイモの芽)

年会費 4,000円を

郵便局で 00100-2-20630

「雑報友の会」

へ 挿い込んで下さい。

題 字 敬 佐村隆英和尚 (千葉県長柄町本光寺住職)

カ ッ ト : 泉ゆきをさん (にっぽん箱絵の会会長)

印刷機 リソグラフ RZ 330

※ この号の切手は、日本国際切手展。
(2回目です。雑報に切手の発行が)
追いつかないため。

山仕事(11月、大平“マカンブサーレ”)

11月11日(木)、快晴。なんとなく予感がして、東京駅を一本早い7:28発熱海行きにのる。車内のニュースで、外務線の遅延を知る。まあよかったと、熱海で原田、山崎さんと合流。大気が澄み大島、富士山がくっきり見える。

ところが、熱海から先の東海道線でも遅れが発生。いつもの天浜線に間に合わず、1時間遅れると正士さんに連絡。すると、スミ真らさんが掛川まで迎えに来てくれることに。

掛川駅前のベンチで弁当をたべていると、スミさんが到着。そのまま買物先の「豊田」とれたて元気村へ。丁度、伊藤、藤江さんのせた正士さんと若林さんも着いたところだ。おかげで、ほとんどいつもと変わらず、ありがとう。

今回、若林さんのところで竹細工に励む西澤さんが、千葉県八千代市から車をとばして2度目の参加。浅岡さんの田んぼ跡①の草刈りにかかる。



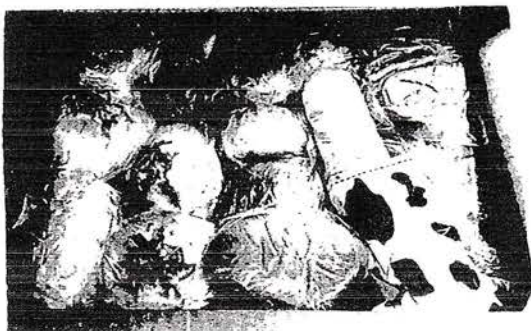
山ちゃん
英ちゃん



西澤さんも刈り込み機での操作に慣れていたので手が揃い、早目に終る。ついで桶ヶ沢②の入り口も少し刈る。(西澤さんは、12日)からだっけ。

(夕食) 刺身(イカ、ブリ)、蒸し里芋のみそだれ、崎陽軒のしぐまい(伊藤光見さんから)、小松菜の中華風炒め、スミさんのハヤトウリ炒めおみやげ、紀文の笹かまぼこ、ヤコン(スミさん)のきんぴら。

この日は正士さんのソバ打ちはお休みで、伊藤和代さん(下関市)から送られてきたパンをたべる。



カメラ: 正士さん

11月12日(金)晴。坂上利子さんの柿園③の草刈り。坂上さんは転んで骨折入院中。時を同じくして正士さんのお母さんも転んで、こちらは捻挫。痛みと動けないのを嘆いておられた。久米さんが杖をプレゼント。気をつけなくては。

9時すぎ、水窪(みさくぼ)町の元乙女さんが到着。甲斐々々しい作業衣姿は「元」をとって面白い感じ。イノシシ除け電柵まわりの草を鎌で刈ってもらう。働きものの女人には、物足りないんじゃないかな。



カメラ・正士さん

その間に尾上美智子さん(香野町)、佐藤貞敏さん(久米さんが敷地駅まで迎え)が到着。

昼は、正士さんちの庭で大饗宴と相なった。

ブルーシートを敷いた上にご馳走が並ぶ。

熊谷道子さん山採りの貴重な舞茸ごはん。舟屋

千づるさんが炊飯器持参で炊いたクリ入りのお赤飯。

そして尾上美智子さんから、2つの発泡スチロール箱が。

ふたをあけると、ジャーン。色よいカエデとイチヨウの小枝

の下に助六寿司(稲荷と海苔まき)のパックがギッシリと。

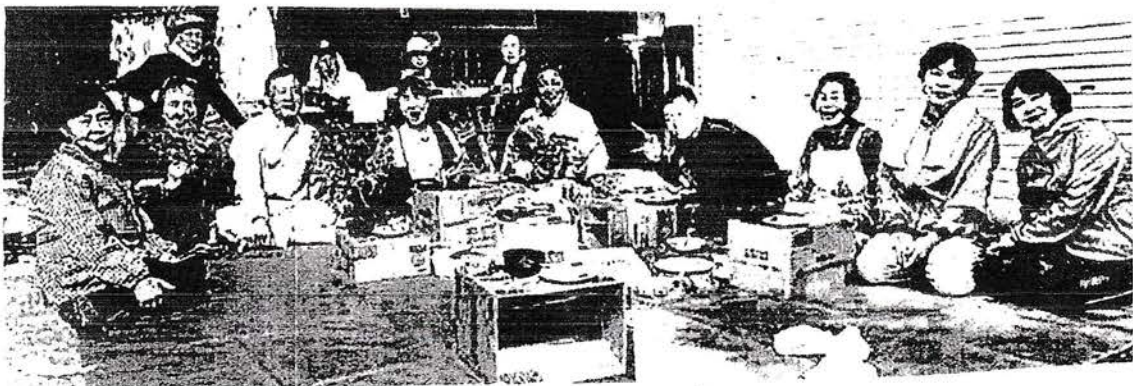
雑報縄文600号の祝いにこのこと。佐藤さんのがん

が判明してからは、毎春、サクラの枝を贈っておられる

尾上さん、粹なお祝いをありがとうございました。



ごはん類のほか、しまい、芋汁、ふゆもの漬物、手作り豆腐のおから煮、手作りにやくの煮物、紫芋とリンゴのサラダ、次郎柿等々が並ぶ。人数も、座敷にいるお母さんを含めて計14名。この人数は、正士さんにとって久しぶりだろう。



まさに「マカンブサール」(インドネシア語を大御馳走)だ。なんで行ったこともないのに知っているかって? 東京大空襲で焼けるまで渋谷で本屋だったぼくんち。父がリヤカーで運んだ僅かな荷の中に『馬來の野に狩りして』という本があった。著者はたしか徳川義親。徳川家の末裔がマレー半島でゾウやトラを追いかけた気楽本だ。子どもの頃読んでマカンブサールと「テレマカー(おれがと)」と覚えたという次第。

昼食は2時間に及び、尾上さんは14時すぎにお帰り。
 そのあと、佐藤さんは元乙女たちが集めた枯枝な
 どで焚き火をし、芋を焼く。元乙女たちは、2ヶ所で



柿(遊)もぎ。持
 ち帰って干し柿
 にするのだ。
 康江さんは厨
 房に戻り、ご馳



走づくりを願む。久米さんも一緒だ。
 男たちは桶ヶ沢で草刈り。西澤さんも
 加わり、1時間20分で刈り終る。以前は

半日近くかかったのだから、大したものだ。

桶ヶ沢が終ると、丑さんちの裏の高台④に移り、草
 刈り。



山
 ちゃん
 英
 ちゃん



式根島の池松さんから届いた
 アメリカ芋(黄金千貫?)



←桶ヶ沢で。
 左から西澤、
 ぼく、山崎、奈田、
 若林の皆さん



ぼく

(夕食) 里芋の天ぷら(下味つき)、ホタテのバジルソース、小松
 菜の煮湯し、キャバツと鶏ささみのサラダ、レンコンのカレー炒め、
 京都宮の正嗣^{まさし}餃子(佐藤さんお)、天然ナメコおろし(中谷
 さん)、焼シタケ(水窪、久米さん) →
 板餅(水窪)、饅頭(肉田美智子
 さん)、ユズ・カボス・シークワサー(尾上さん)、ゆべし(水窪)、ワサビの



ソバを打つ正士さん
 おろし:久米さん

基(中谷さん)のシラス和えと醤油漬り、正士さんの手打ちソバと久米さんのだしがえしだ。

そして、足神神社(水窪)の宮司舟屋治次さんから銘酒喜久水。
佐藤さんは菜を替えてから合戦が出て、体重がらみぶたたのことよめった。



舟屋 佐藤 ぼく 原田 伊藤 山崎 菜 西澤
中谷 熊谷

20:40. 水窪の皆さんが帰ったあと、英ちゃんのケーナで合唱。

11月13日(土)、快晴。朝食は毎回、原江さんから山形の大豆トラストの納豆がつく。みそ汁には、水窪のナメコが。

朝のうち、ヨザ⑤の草刈り。これで、今回正士さんが予定した作業はすべて終了。

(昼) オブサンポ、アボカドのサラダ。

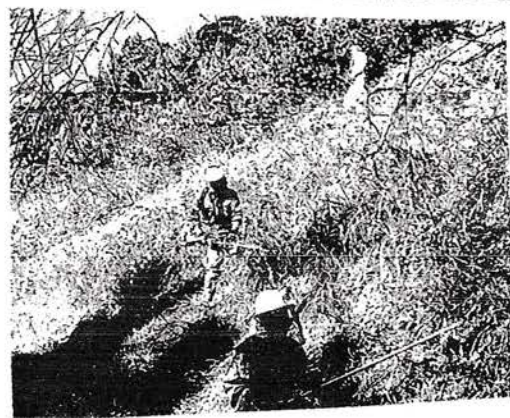
次回、12月1〜3日。

— 佐藤さんの日便り —

- ◆ 1年ぶりの山仕事参加は、尾上さんや水窪の元乙女の皆さん、猫の手の定例メンバーの皆さんに加え、久しぶりに豊岡農園の深澤さんご夫妻にもお会い出来、焚き火にも参加できて大満足でした。せむ又よろしくお願ひします。

アンナさんの三浦散歩、楽しみです。

つづいて、舟屋千づるさん、正士さんの日便りが。



深澤さんのミカン



— 宇屋千づるさんのお便り —

◇ 朝霜で畑が白くなる日が多くなって来ました。

先日は楽しい一日をありがとうございました。超人の厚正さんだけでなく皆が喜々として作業に励む姿が印象的でした。猫の手クラブの素晴らしいところは、皆さんの笑顔、それぞれが自分の出来ることを精一杯活動出来る場であること。いいなあと思っていました。もうずっと続けていらっしゃるのですね。依頼があればどこにでもかけ付ける。大沢(水窪町。山を挟んで元乙女の地区の東側)にも、津谷寛奈さんの依頼でおいで下さったのですか。(じつは、作家飯田辰彦さんからの誘いでした)

集まっていたら皆さんがしっかりと自分の信念をおもちで、決してまわりに強制するようなことはないのですね。私たちももっと早くからお手伝いできるとよかったですね。

山崎さん、原田さん(草のタネを)ハリネズミでしたが、相変わらずです。草払い機なんて録もなかったでしょうね。康江さんも元気がどうで嬉しかったです。重労働をする皆さんと食を支えてくれています。縄文のXニューを見るたびさすが康江さん!!と感じさせられています。たまには康江さんご馳走になる立場もいいかな、と思ったのですが、色々作ってしまいました。私たちの田舎料理ではどうしても肉・魚のたんぱく質が不足しがちで力が出せませんから。

思いがけず夜の電話で、池松の奥様の元気は声も聞くことが出来ました。民宿をやめどうしていらっしゃるかと思っていましたが、相変わらずパワフルにご活躍の様子、安心は。私たちが畑仕事をするように、海に出て漁をされているのですね。また行きたくなりました。

正士さんにもすっかりお世話になってしまい、かえてご迷惑だったのではと心配です。耕作放棄地まで手を入れ、お母様の世話と家のことも、お薬を飲んでいらっしゃるところを見ると何かご病気をおもちかと。何事も完璧でない気が済まないでしょう。そばのしの様子から昔乙女たちは「私たちに無理」と。徹底していらっしゃるのですね。何事についても、お母様も元気がどうよかったです。

竹細工の師匠とお弟子さん、楽しい方たちです。若いのが頼もしいですね。佐藤さんがついていて燃やしてくれました。火の番も大変です。いいお顔されていますね。久米さんも屋上さんも大切なメンバーです。お料理のこともセンスがよくて、津谷さんと共通するのを感じます。来春春野町にも行きたいと言っています。

厚正さんのお陰でこんな素敵な皆様とのご縁をいただきました。ありがとうございます。これからもうと猫の手の活動を続けて下さい。縄文や畑仕事、テニス、山歩き等お忙しい毎日だと思いますが、無理に無理を重ねて(正士さんにほどほど手を抜いてと言っても出来ないのと同じで、厚正さんに無理はないでと言ってもそれは出来ないことなので)頑張ってください。私たちは遠くから応援するしありません。またお目にかかりに出向きます。ご活躍下さい。

(素敵な便り、ありがとうございました)

鈴木正士さんのお便り

11/11~13にかけて猫の手の活動ありがとうございました。

今回は、千葉県から若林さんの友人の西澤さん、それに水窪から西浦田楽の女性軍、守屋、熊谷、竹中、中谷さんの4名が参加くださり、大所帯となりました。

遅くなってしまいましたが11月の山仕事の写真をお送りします。

11/11には浅岡綾子さんの休耕田それに我が家の桶ヶ沢の休耕田(一部)の草刈り、11/12には坂上さん宅の周りそれに坂上さんの柿園、それから我が家の桶ヶ沢休耕田の残りの草刈り、さらに隣家の鈴木丑雄さんの裏の畑の一部の草刈、11/13には丑雄さん裏の畑の残り草刈り、隣接している我が家のヨザの斜面の草刈りそれに県道にイノシシがかき落とした土砂の撤去、さらには見通しの悪い県道の支障枝の除去と沢山の仕事をこなして頂きました。それから11/12には佐藤貞敏さんに前回間伐していただいた我が家前庭の間伐木の枝の焼却を、水窪の女性軍には手鎌で坂上さん柿園の電柵周り、我が家のブルーベリー園内の草刈り、さらに渋柿採りをやっていただきました。おかげで我が家の周りや、地域の荒れ地がきれいになり、浅岡さん、坂上さん、鈴木丑雄さん、みんなに喜んでいただきました。ありがとうございました。

また、今回も皆さんより沢山の差入を頂きました。

○浅岡綾子さんより発泡酒1ケース、つまみ各種、草刈のお礼としていただきました。

○内田美智子さんより、またまたおいしいお饅頭をお送りいただきました。

○伊藤和代さんより沢山の食パンと菓子パンをお送りいただきました。ソバの代わりに頂いたり、お昼の主食に頂いたりで本当に助かりました。

○伊藤康江さんより山形県新庄の大粒納豆「豆むすめ」をお送りいただきました。

○伊藤光男さんより横浜崎陽軒のシュウマイをお送りいただきました。

○式根島の池田誠さんより昔から栽培されている、さつま芋をお送りいただきました。佐藤さんに焼芋にいただき美味しかったです。

○鈴木厚正さんより手作りのさつま芋と里芋をお送りいただきました。佐藤さんに焼芋にいただき美味しかったです。

○尾上美智子さんより厚正さんへ雑報600号のお祝いとして助六寿司15人前頂きました。厚正さんより御相伴にあずかりました。

○佐藤貞敏さんより宇都宮のまさし餃子を頂きました。

○水窪女性軍より田楽のお酒1升、沢山の山菜ごはん、お赤飯、生シイタケ、生ワサビ、その他いただきました。

○地元の乗松補仁さんより沢山の掘りたてショウガ、それにカブの漬物を頂きました。

○隣家の鈴木丑雄さんより草刈のお礼として次郎柿2袋(お土産用)いただきました。

○皆さんより柿の注文を頂く平野耕司さんより2等品の次郎柿、コンテナ1杯いただきました。

○深澤明男さんよりB品のみかん、コンテナ1杯いただきました。作業途中の飲物代わりにいただき大助かりでした。

皆さんの猫の手へのお気遣いに感謝です。